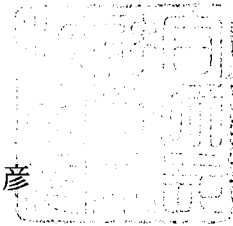


関係機関の長 殿
関係学部等の長 殿
関係 各 位

大学共同利用機関法人自然科学研究機構
核融合科学研究所長 竹入 康彦



教授の公募について（依頼）

このたび、当研究所では下記の要領で教授を公募いたします。
つきましては、関係各位にお知らせいただくとともに、適任者の応募について、よろしくお取り計らいいただきますようお願いいたします。

記

1. 公募する職種及び人員

教授 1名（任期5年、在任中の業績の評価により再任も可とする）
適格者がいない場合は採用しないこともある。

2. 所 属

ヘリカル研究部高密度プラズマ物理研究系輻射物理研究部門

3. 研究内容

核融合炉を目指したヘリカルプラズマ研究では、高性能プラズマを安定に維持する制御法を確立することが最重要課題の1つであり、当該研究部門では、大型ヘリカル装置（LHD）において、電磁波を用いてプラズマ物性を調べ、それに基づいたプラズマの安定化と高性能化を目指した研究を行っている。

今回の公募では、LHDにおける重水素実験の推進において、高ベータ化や高エネルギー粒子の挙動に起因するプラズマの不安定揺動や分布形状の変化、磁場の構造形成過程の物理機構を、能動的・受動的計測を駆使することで理解し、それに基づく不安定性の制御を通じてプラズマの高性能化に関する実験研究を主導する教授を求める。研究の推進にあたり、新たな計測器や高度な解析・制御手法の開発に意欲的に取り組むことも期待される。また、大学院生、若手研究者等の人材育成を行うとともに、大型ヘリカル装置計画プロジェクトにおいて指導的役割を担い、重水素実験の安全管理についても積極的に取り組むことが求められる。

4. 希望事項

- (1) 博士の学位を有すること
- (2) 上記の当該部門の研究分野において実績があること
- (3) 国内外の共同研究の推進に意欲のあること
- (4) 学生の教育に意欲があること
- (5) LHDの運転に関わる保守・管理業務も行うこと

5. 公募締め切り

平成29年10月27日（金）17時（必着）

6. 就任時期

採用決定後のなるべく早い時期

7. 選考方法

選考は、核融合科学研究所運営会議において行う。

選考においては、書類審査を行い、必要に応じて、面接を実施する場合がある。

8. 提出書類（（2）～（5）については6部必要）

（1）履歴書：原則として市販の用紙を使用し、可能な就任時期も明記すること。

（写真貼付、取得学位名を明記の上、連絡先にE-mailアドレスを記入すること。）

（2）研究歴：任意の様式による。2,000字程度。

（3）就任後の抱負：任意の様式による。2,000字程度。

（4）研究業績発表論文リスト：和文と英文は別葉とすること。共著の論文については、共著者名をすべて記入すること。また、それぞれの論文について、レフリーによる審査（査読）を経たものであるか、否かの区別を明確にすること。

なお、リスト作成にあたっては、当研究所の「研究業績リスト作成基準」（当研究所ホームページ（URL：<http://www.nifs.ac.jp/jinji/>）に掲載）によること。

（5）論文別刷：主要な論文5編程度の別刷を添付すること。（別刷がない場合はコピーでも可）なお、添付した論文の概要と本人の貢献を別途記載した文書を添付すること（任意の様式による）。

（6）推薦書：推薦者がある場合は推薦書、又は応募者について参考意見を述べることでできる方2名程度の氏名及び連絡先を記載した文書。いずれも、任意の様式による。

上記の書類は、履歴書以外は原則としてA4判横書きとし、それぞれ別葉とすること。

また、各書類のすべてのページの右肩上に応募者氏名を必ず記入すること。

9. 書類送付先

〒509-5292 土岐市下石町322-6

核融合科学研究所 管理部総務企画課人事係

封筒の表に「高密度プラズマ物理研究系放射物理研究部門（教授）公募関係書類」と**朱書**し、郵送の場合は**簡易書留**とすること。

また、この公募以外の公募書類を同封しないこと。

10. 問い合わせ先

（1）提出書類について

核融合科学研究所管理部総務企画課人事係

電話 0572-58-2013（直通）

（2）研究内容等について

核融合科学研究所ヘリカル研究部プラズマ加熱物理研究系

研究主幹 教授 森崎友宏

電話 0572-58-2200（直通）

11. その他

（1）この公募内容については、当研究所のホームページ（URL：<http://www.nifs.ac.jp/jinji/>）に掲載）に掲載していますので、ご参照ください。

（2）提出された書類は返却しませんのでご了解ください。

（3）当研究所の任期制については、「核融合科学研究所研究教育職員の任期に関する規則」（URL：<http://www.nifs.ac.jp/jinji/>）に掲載）によります。

（4）本人事においては男女共同参画社会基本法の趣旨を尊重します。

・研究・教育業績や人物の評価において同等と認められた場合には、女性を採用します。

・産前産後・育児・介護のための休暇・休業（育児部分休業、介護部分休業を含む。）の取得、又は業務上若しくは通勤途上による傷病に起因する病気休暇・病気休職により研究を行うことができなかった期間がある場合には、履歴書等にその旨明記していただければ、業績を評価する際に配慮します。

以上